

富山大学薬学部学生後援会

令和3年度(第24回)総会報告書(抄)

令和3年4月8日(木) 午後1時30分より
富山大学 杉谷キャンパス 医薬イノベーションセンター 日医工オーデトリウム

次 第:

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 学部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事
 - 5-1. 令和2年度事業報告 (p. 2)
 - 5-2. 令和2年度会計報告 (p. 12)
監査報告 (p. 16)
 - 5-3. 新役員選出 (p. 17)
 - 5-4. 令和3年度事業予定(案)審議 (p. 18)
 - 5-5. 令和3年度予算(案)審議 (p. 22)
6. その他
 - 6-1. 学部生, 大学院生の研究活動 (p. 25)
 - 6-2. 学生の保証人(親権者等)への成績通知について (p. 26)
7. 閉会の辞

総会終了後、御質問・御要望などに関して自由討論

本年度の総会は、コロナ禍での開催であったため、感染拡大防止対策を徹底しつつ行った。

清水理事による開会の辞ののち、青島会長の挨拶、酒井薬学部長の挨拶と薬学部の説明が行われた。

配布された薬学部パンフレットの内容に沿って行われ、表紙デザインの意味、薬学部のスローガン、杉谷キャンパスの勉学に勤しみやすい環境、学生の進路、コロナ禍での生活習慣の重要性について、説明があった。

その後、青島会長が議長となり、総会の議事が進められた。

5. 議事

5-1. 令和2年度事業報告

5-1-1. 令和2年度(第23回)総会

担当：清水

令和2年4月8日(水)の午後1時30分より、杉谷(医薬系)キャンパス 看護棟1階 10番講義室にて令和2年度総会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催を中止し、理事による持ち回り審議を行いました。令和元年度の事業(総会、国家試験対策、TOEIC 受験支援、卒論発表会支援、サークル援助、奨学資金援助、広報、保護者懇談会、入会状況)および決算が承認されました。また令和2年度の正会員理事21名、教職員会員理事9名、正会員監査1名、教職員会員監事1名が承認されました。さらに令和2年度の事業計画案および予算案は、原案のとおり承認されました。理事の方より、いくつか検討事項をご提案いただきましたので、今後の検討課題として対応していきたいと思っております。

5-1. 令和2年度事業報告(続き)

5-1-2. 課外教育援助① (国家試験対策)

担当: 横山

結果

薬学部6年制導入後の第10期生が令和2年度に最終学年を迎え、令和3年2月20日及び21日に新卒者54名、既卒者6名、及びその他(旧4年制卒業者・受験資格認定者)11名が薬剤師国家試験を受験しました。先日3月24日に合格発表があり、以下は合格者数の速報値です(前々回全国合格率:70.91%, 前回全国合格率:69.58%, 今回全国合格率:68.66%)。

	富山大学		全国	
新卒	49名合格 (54名受験)	90.74%	7,452名合格 (8,711名受験)	85.55%
既卒	2名合格 (6名受験)	33.33%	2,079名合格 (5,035名受験)	41.29%
その他	5名合格 (11名受験)	45.45%	103名合格 (285名受験)	36.14%
計	56名合格 (71名受験)	78.87%	9,634名合格 (14,031名受験)	68.66%

対策

令和2年度に学生後援会として、薬学科6年生(54名)および博士課程薬剤師コース4年生(5名)向けに行った国家試験受験対策は次の通りです。

- ・ 学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール: 講義(52コマ)13日間, 模擬試験(5回)8日間
- ・ メディセレスクール社: 模擬試験(1回)2日間

第106回薬剤師国家試験対策 講義・模試日程

【講習会・模擬試験】

今年度	内容	講義室
5月7日(木)	ガイダンス I(90分程度) 13:00	大講義室
5月16日(土)	スタートアップ模試(全員)	自宅受験
7月18、19日(土・日)	ステップアップ模試(全員)	セミナー室 8
9月24、25日(木・金)	全国統一模擬試験 I(全員) (薬ゼミ)	日医工ホール
11月9日(月)	ガイダンス II(90分程度)13:00	202
11月10日(火)	対策講義(衛生)	202
11月13日(金)	対策講義(化学)	202
11月17日(火)	対策講義(生物)	202
11月20日(金)	対策講義(物理)	202
11月24日(火)	対策講義(治療)	403
11月27日(金)	対策講義(薬剤)	102
12月1日(火)	対策講義(薬理)	403

12月4日(金)	対策講義(法規)	102
12月8日(火)	対策講義(実務)	202
12月10、11日(木・金)	全国統一模擬試験 II(全員) (薬ゼミ)	403/202
12月15日(火)	弱点克服講義(薬剤)	202
1月7、8日(木・金)	メディセレ全国統一模擬試験(全員)	402/自宅受験
1月15日(金)	弱点克服講義(薬理)	オンライン
1月19日(火)	弱点克服講義(治療)	オンライン
1月21日、22日(木・金)	全国統一模擬試験 III(全員) (薬ゼミ)	日医工ホール
1月26日(火)	弱点克服講義(薬剤)	オンライン
2月20、21日(土・日)	第106回薬剤師国家試験	

費用

・薬学ゼミナール(講義 52 コマおよび模擬試験 5 回を含む一式) :	3,000,980 円(税込)
・メディセレスクール(模擬試験 1 回) :	214,170 円(税込)
総計	3,215,150 円(税込)

国試対策の総額は 3,215,150 円で、58 名の受講者一人あたり 55,070 円、1 名は模試のみのため 21,130 円となりました。薬学部 6 年生に対しては、学生後援会より一人あたり 15,070 円を支援し、各受講者から 40,000 円(/1 名)を収集しました。博士後期課程 4 名は学生後援会からは援助 70 円(模試のみの学生 1 名 30 円)のため、55,000 円(/1 名)、模試のみの学生 21,100 円をそれぞれ収集しました。また 1 月の講義がオンライン講義に変更されたことにより、薬ゼミから 100,620 円(講師の交通費、宿泊費)の返金がありました。これに加え、各受講者は講義用テキストを別途購入いたしました。

その他

2月20、21日に北陸大学太陽が丘キャンパスで行われた国家試験では、学生全員が近畿日本ツーリストによるツアー(2泊3日)に参加し、金沢駅近くのホテルに宿泊して受験しました(旅行代金は一人当たり 32,800 円)。なおツアーに関しては、学生後援会は直接関与していません。薬ゼミからの返金 100,620 円は、近畿日本ツーリストへの支払に転用し、34,535 円が 32,800 円へ減額されました。

5-1. 令和2年度事業報告(続き)

5-1-3. 課外教育援助② (TOEIC 支援)

担当: 南部

概要: TOEIC (国際コミュニケーション英語能力テスト) は英語によるコミュニケーション能力を検定する試験であり, 大学院入試に用いられる他, 企業が採用の際に参考にする場合があります。学生後援会では, 主に創薬科学科に対する支援としてTOEIC講習会, 学内IPテストを企画しています。

活動報告 (令和2年度)

1) TOEIC講習会 (令和2年11月7日(土))

- ・外部講師(2講師, イーオン社)にTOEIC対策講義を依頼し, 入門&スコアアップコースの2クラス制で実施しました。令和2年度は対面での講義ではなく, Zoomを用いてオンラインで実施しました。
- ・創薬科学科学生の参加費等を学生後援会から支援しました。1クラス分(スコアアップコース)の講師代と添削費は, 学部長裁量経費から支出しました。

実施状況: 参加者27名 (参考: 令和元年度 参加者23名, 内訳: 入門19名, スコアアップ4名)

- (1) 入門コース: 15名 創薬科学科2年: 9名, 3年: 6名, 4年: 0名
使用教材: 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 6
- (2) スコアアップコース: 12名 創薬科学科2年: 4名, 3年: 4名, 4年: 3名
大学院生(修士1年): 1名

使用教材: 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 4

(昨年使用したテキストを利用することで, 昨年入門コースを受講した学生が負担金なくスコアアップコースを受講できるように配慮したため)

(支援対象26名, 支援対象外1名)

- 経費: 1) 学生後援会による支援(合計194,480円) <主に入門コースの経費を支援>
2) 学部長裁量経費による支援(合計120,550円) <主にスコアアップコースの経費を支援>
3) 支援対象外参加者の参加費等(合計5,500円(収入))

(注意) オンラインで実施したため, 例年必要であった講師派遣費約25,000円は削減されましたが, テキスト代が毎年少しずつ値上がりしており, 全体として令和元年度(約20万円)と同等の経費となりました。

まとめ

- 1), 3)より, 学生後援会から合計188,980円(194,480-5,500円)を支援しました。

講習会終了後、メールにてアンケートを実施しました。

・回答数:入門コース15名中6名, スコアアップコース12名中7名 回答者合計:13名

1. 満足度:大変満足 6名, おおよそ満足 7名, どちらでもない 0名, 不満 0名
2. 難易度:非常に易しい 1名, 少々易しい 10名, ちょうどよい 2名, 難しいとの回答 0名
3. 開催時期:適切 12名, 他の時期がよい 1名(10月のはじめ)
4. 講習会の時間:長すぎる 0名, 少々長い 3名, ちょうどよい 10名, 短い 0名
5. 次回の参加希望:入門コース 1名, スコアアップコース 8名, 必要ない 4名
6. ご意見等:

・Zoomでの講習会は自宅から受講できるため, 気軽に参加できてよかった。

・音読トレーニングは力がつきそうなので, 是非やっていきたいと思う。

・文法の話は高校の復習の内容できたので, もう少し短くてもいいように思いました。

・ホワイトボードの文字がたまに読みにくかった。

・スコアアップコースは, 入門コースとほぼ一緒の内容だと思った。

・スコアアップコースは, 2年生よりも3年生が受けるのがよいと思った。

・Zoomを使った講習会の方が疲れにくく, 良いと思った(去年は会話するのが疲れた)。

・600点後半のスコアを持っていたので, スコアアップコースは少し物足りなく感じた。

・発音するときに落ちる音, くつつく音の解説と, 品詞の解説がためになった。

2) TOEIC-IPテスト (令和3年1月9日(土)実施予定でしたが大雪のために延期→1月23日(土)実施)

・大学生協主催で行われています。

・創薬科学科学生に対して, 一人1回分(3,455円)支援しています。

経費: 学生後援会による支援(創薬科学科2年:0名, 3年:28名, 4年:2名)

(内訳)受検料 3,455円×30名=103,650円

まとめ

学生後援会から, 103,650円を支援しました。

また, 支払いが年度内に間に合わなかったため, 来年度の予算で支払いました。

5-1. 令和2年度事業報告(続き)

5-1-4. 課外教育援助③ (卒論発表会支援)

担当: 清水

令和3年2月12日(金)、薬学部4年次生を対象に令和2年度卒業研究発表会が行われました。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、オンライン開催となりました。新型コロナウイルスの感染拡大による休講措置にも負けずに行った研究成果を、創薬科学科生は卒業研究として、薬学科生は中間発表としてポスターあるいはスライドにまとめてオンライン発表しました。学生は、各自が作成した資料を学習プラットフォーム(Moodle)に掲示し、教員および学生からの質問に対して回答しました。例年とは異なる形式ではありましたが、活発な討論が繰り広げられました。また教員、大学院生、学部生(3年次生以上)による投票が行われ、創薬科学科生からは卒業論文最優秀発表賞1名と卒業論文優秀発表賞6名が、薬学科生からは優秀ポスター発表賞6名が選ばれ、賞状と副賞(薬学科生は賞状のみ)が贈られました。学生後援会では、課外教育支援の一環としてこれらの賞の経費(詳細は略)を提供しました。

5-1. 令和2年度事業報告(続き)

5-1-5. 学生実習援助

担当：南部

講義実習棟に設置されている真空排気装置の配電盤が故障しました。真空排気装置は、2年次後期の化学系実習で使用しており、修理しないと令和2年10月からの実習が実施できない状況でした。そこで、学生後援会の学生実習援助からその修理費の一部をご支援していただきたく、副会長および学内理事の先生方と協議し、ご承諾いただきました。本来であれば、会長をはじめ、正会員の理事の皆様のご承諾を得るべきところではございましたが、実習実施に間に合わせるためには早急な修理を必要としたため、事後報告となりましたこと、お詫び申し上げます。

修理の詳細については、以下の通りです。

修理実施日：令和2年6月17日(水) 9:00～11:30

費用：真空排気装置点検修理 1式 370,000円

<支出内訳>

学生後援会 学生実習援助からの支援分：170,000円

内容：作業費(購入品：シーケンサ CPU ユニット, パワーサプライ, リレー), 交通費, 諸経費

化学系実習実施研究室からの補填分：200,000円

(4研究室－薬用生物資源学, 薬化学, 薬品製造学, 分子合成化学－で5万円ずつ負担)

内容：事前下見作業, 電気設計費, PLCソフト変換費, 現地作業費, 交通費, 諸経費

5-1. 令和2年度事業報告(続き)

5-1-6. 課外活動に対する補助金

担当：宗

令和2年度の課外活動に対する補助金を以下のように決定し支給しました(詳細は略)。

5-1-7. 奨学資金援助

担当：宗

令和2年度の希望はありませんでした。これまでに貸与した方は22名です。

5-1. 令和2年度事業報告(続き)

5-1-8. 広報

担当：千葉

薬学部学生後援会のホームページで情報を公開しております。ホームページは逐次アップデートし、内容の充実を図っております。令和2年度は、ホームページをリニューアルしました。ご覧いただければ幸いです。なお旧ホームページは、新ホームページへのリンクを貼ったトップページのみを暫く掲示し、後日削除する予定です。

(新)富山大学薬学部学生後援会ホームページ

<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/>



5-1-9. 保護者懇談会

担当：清水

杉谷キャンパスにおける大学祭(医学薬学祭)の開催期間に合わせて、令和2年10月24日(土)の午後2時より附属病院2階 臨床講義室Iにて保護者懇談会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、大学祭が中止となったことから、保護者懇談会も中止としました。

5-1-10. 入会状況

担当：杉本

令和2年度の新規加入者は113名(新入生薬学科55名中51名、新入生創薬科学科54名中46名、在学生薬学科9名、在学生創薬科学科7名)でした(新入生:2019.12.1~2021.2.28、在学生:2020.3.1~2021.2.28)。また、令和3年度入学者108名中76名(新入生薬学科58名中45名、新入生創薬科学科50名中31名)の入会を受け付けました(2021.4.1現在)。未入会の方には、総会および保護者懇談会の案内状送付時および3年次以降に研究室配属が決定した後に、本会の趣旨をお伝えしつつ入会して頂くようお願いしております。

ここまでの内容で質問を2つ頂いた。

質問1: 資料を見る限り、薬学科の学生の方が創薬科学科に比べて手厚い支援を受けているように見えるが、支援を平等に行うべきではないか？

回答: 薬学科学生への支援実績は、国家試験対策の項目で細かな金額を記載していた一方で、創薬科学科学生への支援実績については具体的な金額を記載していなかったことで誤解を生じてしまったと考えられます。TOEIC 対策等での費用を合算すると、創薬科学科学生に支援した額は会費の半分ほどに相当しており、薬学科学生のそれとほぼ同等の比率となっています。

質問2: 学生実習の支援として、故障した真空排気装置点検修理費用(一部)を拠出したとあるが、こういった費用は本来、大学が負担するべきものであり、学生後援会が負担するべきものではないと思う。

回答: 本来は大学が負担するべきですが、予算的に厳しい状況であることと、実習を開始するにあたって時間的余裕がなく、学生の不利益とならないよう学生実習を予定通り実施するため、部分的であるにせよ学生後援会から拠出させていただきました。現在の社会情勢や大学の状況を鑑み、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

5-2. 令和2年度会計報告

以下、本会計、緊急対策会計、奨学資金会計の収支決算及び監査報告があった。

担当：和田

令和2年度富山大学薬学部学生後援会の収支決算について、次の通りご報告致します。

(自 令和2年3月1日 ~ 令和3年2月28日)

収支決算報告書(案)

表 1-1. 学生後援会本会計収支報告

〈略〉

表 1-2. 学生後援会課外教育振替口座収支報告

〈略〉

表 2-1. 緊急対策会計収支報告(財源の部)

〈略〉

表 2-2. 緊急対策会計収支報告(積立の部)

〈略〉

表 3. 奨学資金会計収支報告

〈略〉

収支監査報告

〈略〉

以上の会計報告について、特に質問はなかった。

5-3. 新役員の選出

担当：杉本

会長、副会長、学内外の新理事、監事について、承認された。

令和3年度役員名簿

理事(正会員)

会長：	青島 圭子	(薬学科)	副会長：	安カ川 武憲	(創薬科学科)
理事：	駒井 秀樹	(薬学科)	理事：	藤井 秀人	(創薬科学科)
理事：	今井 克也	(薬学科)	理事：	山田 宗孝	(創薬科学科)
理事：	金森 信幸	(薬学科)	理事：	緒方 秀一	(創薬科学科)
理事：	郷 達広	(薬学科)	理事：	田谷 進二	(創薬科学科)
理事：	筧 久史	(薬学科)	理事：	永森 隆志	(創薬科学科)
理事：	野原 英治	(薬学科)	理事：	<u>大島 健一</u>	(薬学科)
理事：	松澤 孝泰	(薬学科)	理事：	<u>深山 敦子</u>	(薬学科)

理事(教職員会員)

副会長：	酒井 秀紀	(薬学部長)
庶務：	杉本 健士	(薬品製造学)
入会・人事：	<u>歌 大介</u>	(応用薬理学)
課外教育 国家試験：	千葉 順哉	(薬化学)
課外教育 TOEIC 講習：	南部 寿則	(分子合成化学)
課外教育 TOEIC 講習補佐：	名執 基樹	(独語)
課外活動・奨学資金：	<u>中野 実</u>	(生体界面化学)
会計：	<u>和田 努</u>	(病態制御薬理学)
広報：	<u>谷本 裕樹</u>	(生体認識化学)

監事

監事(正会員)	清水 久資	(薬学科)
監事(教職員会員)	<u>谷本 裕樹</u>	(生体認識化学)

(下線は新任)

5-4. 令和3年度事業予定(案)審議

5-4-1. 課外教育援助① (国家試験対策支援, 薬学科6年生対象)

担当: 千葉

令和3年度は、新カリキュラム導入後の第11期生が最終学年となり、来春に薬剤師国家試験を受験することとなります。学生の国家試験対策サポートとして、薬学科6年生を対象に以下の内容を予定しております。

令和3年	5月頃	国家試験についてのガイダンス
	5月末頃	スタートアップ模試(薬学ゼミナール)
	7月末頃	ステップアップ模試(薬学ゼミナール)
	9月頃	全国統一模擬試験Ⅰ(薬学ゼミナール)
	11月頃	予備校講師によるガイダンス
	11~12月頃	予備校講師による講習会
	12月中旬頃	全国統一模擬試験Ⅱ(薬学ゼミナール)
令和4年	1月上旬頃	模擬試験(メディセレ)
	1月中旬頃	予備校講師による講習会
	1月下旬頃	全国統一模擬試験Ⅲ(薬学ゼミナール)
	2月下旬	第107回薬剤師国家試験

令和2年度の第106回国家試験は、科目により差はありますが、全体としての難易度は105回よりやや低くなりました。第107回国家試験から適応となる「新出題基準」や「改訂コアカリ」、「実務実習ガイドライン」を意識した科目の壁を超えた連問等「総合的な力」や「考える力」を必要とする問題は継続して出題されていきました。また、実務実習で体験する「代表的な8疾患」についての問題はがんや感染症を中心に継続して多く出題されていきました。また、薬剤師に求められる臨床現場での対応能力が備わっているかを問う問題も多く出題されていきました。1つの問題に、多くの疾患名が列挙され、しっかり症例・処方を読まないと解答できない問題が多く出題されており、臨床で複数の合併症を有する患者に対応する実践力が問われる内容が多く含まれておりました。難易度は年々高くなっていることから、学生には早期から地力を付けて試験に臨むよう勧めていきます。また5年生時に行われる長期実務実習で得られる知識の重要性についても周知し、国家試験につながることを意識して臨むよう指導する予定です。令和3年度の国家試験対策は、過去3年間の対策を踏襲し、より充実した対策が行えるよう努めてまいります。また、試験情報も随時受験生へ伝えていく予定です。

5-4. 令和3年度事業予定(案)審議(続き)

5-4-2. 課外教育援助② (TOEIC 支援)

担当: 南部

令和3年度は、以下のようにTOEIC講習会・TOEIC-IPテストの企画・支援を行う計画です。

活動予定

1) TOEIC講習会(令和3年11月上旬頃)

- ・外部講師(2講師, イーオン社)にTOEIC対策講義を依頼し, 入門&スコアアップコースの2クラス制でオンラインにて実施します。また, 使用教材については, 入門コースは最新の公式問題集, スコアアップコースは令和2年度に入門コースで使用したver. 6の問題集の予定です。つまり, 令和2年度入門コースを受講した学生は, 負担金なしで令和3年度のスコアアップコースを受講できます。
- ・創薬科学科学生の参加費等を学生後援会から支援します。1クラス分(スコアアップコース)の講師代と添削費は, 薬学部共通経費(旧学部長裁量経費)から支出する予定です。
- ・平成30年度より, 創薬科学科2年生も受講(支援)対象としています。TOEIC活動周知を改善して, 参加者増(特に創薬科学科2年生)を目指します。

2) TOEIC-IPテスト(令和4年1月実施予定: 大学生協主催)

- ・学生後援会から, 創薬科学科学生の受験料を支援します。令和3年度から, 1回のみだったIPテスト受験料の支援を2回までに増やす計画です。2年生から積極的にIPテストを受験してもらうための対策です。

3) TOEIC対策についての周知

- ・TOEIC活動周知を改善して, 参加者増を目指します。
- ・年度始めのガイダンスにて, 周知徹底を図ります。

今後の課題

- ・創薬科学科2年次生の講習会への参加者数が大幅に増えましたが(13名参加, 令和元年度は2名), IPテストは受検しませんでした(令和元年度は2名参加)。早期に学習を開始すること, およびIPテストを受検して自分の現状を知ることが重要であるため, さらに参加者が増えるように, 令和3年度からIPテストの受験料の支援を1回限りだったのを2回までに増やす計画です。
- ・大学院入試の出願時に外部英語試験(TOEIC等)のスコア(過去2年以内)の提出が義務づけられているので, TOEIC等の検定を事前に受検しておく必要があることを周知します。また, 2年次のIPテストの結果が大学院入試に利用できるため, 2年次からIPテストを受検するように周知します。(ちなみに, TOEIC730点を, 入試では満点と換算します)

- ・薬学科の学生も製薬企業等への就職の際にTOEICの受検が役に立つ場合がありますので、ガイダンス等で周知し、TOEIC対策への積極的な参加を促します。
- ・TOEIC講習会のアンケート調査の結果を踏まえ、講習会の内容の改善(音読トレーニングを増やして、文法の解説を減らすなど)を先方のイーオンと協議します。

5-4-3. 課外教育援助③(卒論発表会支援)

担当: 杉本

令和4年2月に薬学部4年次生を対象として開催される卒業研究発表会において、例年通り援助を行います。

5-4-4. 学生実習援助

担当: 杉本

本年度も引き続き、学部教育に関わる実習に必要な経費について、要望があれば、援助を行う予定です。

5-4-5. 課外活動援助

担当: 中野

例年通り、各課外活動団体からの申請がありましたら、薬学部学生の所属数に基づいて、既定の範囲内で援助を行います。

5-4-6. 奨学資金援助

担当: 中野

新たに奨学資金援助を希望する者には、返還計画の遵守を徹底した上で奨学援助金の貸与を行う予定です。

5-4. 令和3年度事業予定(案)審議(続き)

5-4-7. 広報活動

担当：谷本

薬学部ホームページも活用してリニューアルした学生後援会のホームページを紹介しつつ、引き続きホームページでの案内を中心として後援会活動の報告等を活発に行います。

(新)富山大学薬学部学生後援会ホームページ

<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/>



5-4-8. 保護者懇談会の開催

担当：杉本

杉谷キャンパスにおける大学祭(医学薬学祭)の開催期間に合わせて、令和3年10月23日(土)に開催を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

5-4-9. 令和4年度総会の開催

担当：杉本

令和4年度の入学式に合わせて、総会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

以上の令和3年度事業計画が各担当より説明され、原案通り承認された。

表 4. 学生後援会本会計予算(案)

〈略〉

表 5. 緊急対策会計予算(積立の部)(案)

〈略〉

表 6. 奨学資金会計予算(案)

〈略〉

以上の令和3年度予算案が、原案通り承認された。

6. その他

6-1. 学部生、大学院生の研究活動

担当: 清水

学会での受賞等 (薬学部同窓会誌「遠久朶」第 98 号(令和 3 年 2 月 発行)より抜粋、学年は受賞時)

- 卒業論文最優秀発表賞(令和元年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 2 年 2 月
水出 夏央 (創薬科学科 4 年:臨床薬剤学研究室(附属病院薬剤部))
- 卒業論文優秀発表賞(令和元年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 2 年 2 月
横山 菜緒 (創薬科学科 4 年:構造生物化学研究室)
- 卒業論文優秀発表賞(令和元年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 2 年 2 月
山崎 萌 (創薬科学科 4 年:生体界面化学研究室)
- 卒業論文優秀発表賞(令和元年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 2 年 2 月
北村 楓花 (創薬科学科 4 年:病態制御薬理学研究室)
- 卒業論文優秀発表賞(令和元年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 2 年 2 月
山前 結 (創薬科学科 4 年:病態生化学研究室)
- 卒業論文優秀発表賞(令和元年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 2 年 2 月
平松 元氣 (創薬科学科 4 年:応用薬理学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和元年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 2 年 2 月
西沖 航平 (薬学科 4 年:薬化学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和元年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 2 年 2 月
鍛冶 優葵乃 (薬学科 4 年:薬物生理学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和元年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 2 年 2 月
中田 真衣 (薬学科 4 年:がん細胞生物学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和元年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 2 年 2 月
清水 颯人 (薬学科 4 年:薬物生理学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和元年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 2 年 2 月
片山 さくら (薬学科 4 年:応用薬理学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和元年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 2 年 2 月
湯舟 香春 (薬学科 4 年:病態制御薬理学研究室)
- 第 38 回発表奨励賞(日本生化学会北陸支部第 38 回大会) 令和 2 年 6 月
今西 詩織 (薬学科 6 年:分子神経生物学研究室)
- 第 38 回発表奨励賞(日本生化学会北陸支部第 38 回大会) 令和 2 年 6 月
清水 俊輔 (薬学科 5 年:分子神経生物学研究室)
- 優秀発表賞(32nd CIMP World Congress of Neuropsychopharmacology) 令和 2 年 6 月
楠井 優香 (博士後期課程 1 年:薬物治療学研究室)
- 優秀発表賞(32nd CIMP World Congress of Neuropsychopharmacology) 令和 2 年 6 月
宮西 肇 (博士後期課程 1 年:薬物治療学研究室)
- 学術奨励賞(第 67 回日本化学療法学会総会) 令和 2 年 9 月
尾上 知佳 (博士後期課程 3 年:医療薬学研究室)
- 若手道場 優秀発表賞(第 63 回日本神経化学学会大会) 令和 2 年 9 月
長瀬 繪沙 (博士前期課程 2 年:神経機能学領域)

- 若手道場 優秀発表賞(第 63 回日本神経化学会大会) 令和 2 年 9 月
須山 真聡 (創薬科学科 4 年:神経機能学領域)
- 学会賞(膜シンポジウム 2020) 令和 2 年 11 月
穴田 千晴 (博士前期課程 2 年:生体界面化学研究室)
- 優秀発表賞(富山薬学研究会 2020) 令和 2 年 11 月
岩邊 巧 (博士前期課程 1 年:生体認識化学研究室)
- 優秀発表賞(富山薬学研究会 2020) 令和 2 年 11 月
Sisca Ucche (博士後期課程 1 年:生体防御学領域)
- 優秀発表賞(富山薬学研究会 2020) 令和 2 年 11 月
小川 雄大 (博士前期課程 2 年:生体防御学領域)
- 優秀発表賞(富山薬学研究会 2020) 令和 2 年 11 月
河原 永悟 (博士前期課程 2 年:分子細胞機能学研究室)
- 優秀発表賞(富山薬学研究会 2020) 令和 2 年 11 月
宮岡 佑太 (博士前期課程 2 年:薬化学研究室)
- 優秀発表賞(富山薬学研究会 2020) 令和 2 年 11 月
宮西 肇 (博士後期課程 1 年:薬物治療学研究室)

6-2. 学生の保証人(親権者等)への成績通知について(医薬系学務課より)

担当: 清水

富山大学薬学部では学部学生の修学状況について、学部と保証人との情報共有の観点より、平成 26 (2014)年度入学生から 2 年次以降の毎年 5 月に学生の保証人(親権者等)へ成績通知書を送付しています。ただし、留年が確定した学生については、3 月中に成績を送付します。成績を受け取った後、今後の修学等についてご心配やご相談事がございましたら、医薬系学務課までご連絡ください。専門の相談員や担当教員と連携してご相談に応じます。

平成 25 (2013)年度以前の入学生の保証人の方で成績通知書の送付をご希望の方は、別途お申し込みいただくようお願い申し上げます。お申し込みに関しましては、毎年 9 月に学生後援会からお送りする「保護者懇談会のご案内」に、出欠回答を兼ねた成績通知書送付申し込み用紙が同封されておりますので、そちらをご利用下さい。

総会終了後、希望者を対象に薬学部施設の見学会を実施した。3つの小グループに分かれ、学内ツアーを行った。